

慈眼寺

整備だより

第二号

平成十三年十一月

慈眼寺整備委員会

委員長 大野悟

ごあいさつ

整備委員長 大野悟

冬の息吹が感じられ、火の恋しい季節となつて参りましたが、檀家の皆様方におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

日ごろは慈眼寺整備事業に深いご理解と多大なるご支援を賜りましてまことに有難うございます。心より厚く御礼申し上げます。さて、整備事業について若干の報告をさせていただきます。諸事順調に進んでおりまして、旧本堂の精抜き、地鎮祭等は顧問、委員一同出席の上済ませました。引き続き上棟式を十一

月二十八日に執り行う運びになつております。委員一同知恵を出し合つて立派な上棟式を挙行いたしたく思つております。本号をもつてご案内させていただきます。すとも、多数の皆様のご出席をお願いいたします。併せて無事にこの日を迎えられることができたと、ひとえに皆様方のご支援のおかげと存じ上げ、厚く御礼申し上げます。なお、ここで皆様にお知らせしたい件がございます。ご存知のように当地区には三箇所の埋葬地がございます。その内の四ツ谷上墓は、故伊藤太吉翁の名義になつております。

翁は、明治初期から中期にかけて下市場のみならず周辺の村々にも地域発展のため多大なご尽力をされ、慈眼寺の維持運営にも多くの貢献をなされました。このたび相続人である名古屋市在住の伊藤鎌三氏より整備事業に役立てていただきました。いと名義移管の申し入れをいただきました。大変有難く感じ入っております。

このご篤志を整備事業に有効に活用させていただきますよう住職始め檀方総代委員一同で協議いたします。私は委員長として太吉翁の功績をたたえるべく境内に顕彰碑を建てて後世に伝える所存であります。この場をお借りして伊藤鎌三氏は心より厚く御礼申し上げます。

上棟式のお知らせ

本堂の上棟式を次のとおり行いますので檀家の皆さん挙つてご参加ください。

ご篤志によるお祝い紅白餅を用意いたしました。当日お配りします。なお「餅引換券」を役員から、または郵送にて事前にお届けしますので当日必ずご持参ください。

記

- 一 日時 十一月二十八日(水)午後三時から四時迄
- 二 式次第 午後三時開式 順次受付 焼香及び

特設回廊を歩き本堂内部の観覧

慈眼寺雑感

副委員長 伊藤皓一

私は、下市場に住み始めて二十年経ち、目の前にお寺があるというのに、ほとんど関心もなく暮らしておりました。若い時から何かあると神だのみするのにな、無神論者だと自分自身に言ってきた。それが今回、お役を引き受けて、改めてお寺というものに関心をもたざるを得なくなりました。

ての寄付が当初予算の二倍以上になったことから、檀家の人たちが先祖や寺を大切に思っておられることが良くわかりました。この寄付に凝縮されている想いを建築にどの様に反映させていったら良いだろうか。

檀家の皆様がより良く利用でき、使い勝手の良い寺、丈夫で何百年も持ち、子孫たちが喜んで守っていつてくれるような寺になればと思っております。又今一度、仏教の根本の教えもしっかりと認識しそれに外れないようにすることも大切だと思います。

今回の整備事業にあたっ

寄付の勧進状況

昨今の厳しい経済状況にもかかわらず多くの方々からたくさんのお申し込み、お振込みをいただきました。* 申し込みについては本郷はじめ地元地区では、ほぼ100%、その他の地区でも約95%ほどになっており金額合計は一億七一五万円です。

* 一方、振り込まれた金額は三つの金融機関合計で一億三七七五万円で約八割の振込みがすんでおります(十月四日)。委員一同心より感謝いたします。

委員会活動報告

六月二七日の契約締結以後は引越しの準備と寄付金の集約が主な仕事でした。そのほかは次のとおりです。

- * 九月七日 本堂抜精式
- * 九月十一日 解体始め

- * 九月一四日 田辺建設にて柱材加工など視察
- * 九月二六日 地鎮祭

委員及び建設関係者参加して工事の安全を祈念いたしました。



お寺とともに八十年

顧問 桜井 尚

整備委員会から「整備だより第2号」を出すので何か書いてくれと言われ、お寺に関する私の記憶のままに書きましたが、間違っていましたらご容赦ください。

慈眼寺の歴史は比較的新しく、文化、文政のころに設立され、四世道宗和尚（一八九八年没）の頃より住持されたと思われる。道宗和尚が何歳で没したかは不明ですが、私の曾祖父の大野定七が一九〇五年に没しており（祖父鉄次郎が三八歳、その兄鈴木太郎四〇歳のとき、鈴木太郎は大野悟の祖父）おそらく定七翁が言い出して庵を作り道宗和尚に居住してもらったのではないかと勝手に想像しております。一九〇五年といえ、祖父の話によると故伊藤桑重

翁（伊藤務氏の父）が、日露

戦争で負傷しながら立派に凱旋された年で氏神様に村中総出でお礼参りしたそうです。五世宗苗和尚は私が五歳のときになくなっておりませんが、どんな和尚だったかまったく覚えがありません。でも多分祖父に手を引かれお目にかかったことでしょう。六世黙笑和尚は、

善光寺と一緒にしたような、いつも笑みをたたえた温かな方で私が中学に入った年に亡くなられました。黙笑和尚の死とともに黙定さんの弟子も寺から去り、七世に就かれた黙定和尚が小学校の先生をしながらお寺を守り続け、五年前に亡くなるまで実に五五年間読経三昧の日々を送られました。黙定和尚は明治末の生まれで、大正に当地に来られ

● 来店は大泉寺インターを下りて一番奥の店です

磨かれた技術が光る

墓石・墓地

製造から販売までの一貫システムにより高品質な製品を
専門店だから低価格でご奉仕いたします。

石原石材(株)

春日井市指名・尾張旭市宮墓地
名古屋しみどりが丘公園墓地

● 土日祝日も営業 営業時間/午前8時30分～午後6時
夜間 ☎(0568)81-8417

- 本店/春日井市大泉寺町潮見坂平和公園前
☎(0568)84-1483 81-1261
FAX 82-1857
- 工場/春日井市大泉寺町潮見坂平和公園前
☎(0568) 83-5817
- 尾張旭支店/尾張旭市旭ヶ丘町山の手(旭平和墓園前)
☎(0561) 54-8581
- 名古屋支店/名古屋市緑区鶴ヶ沢(みどりが丘公園前)
☎(052)877-1486

http://www.ishiharasekizai.co.jp

長い住職勤めの間、藁葺きの本堂や庫裏の改修をされました。明治の頑固と昭和の凶々しさの板挟みで大正の良識が失われてしまった昨今を嘆きあいつつも、よき時代を生かさせてもらったことも喜びありました。又この本堂の形をいつまでも残したいものだと話し合っただけです。昭和の始めに内津川が

寺の前で決壊し一面の砂利野原の上で旅役者の芝居見物、寺の竹やぶの中から宋銭が出たこと、酒為さんの大火事で泣いたことなど今となってはどれもみな懐かしいです。

思えば先代の思いがかない慈眼寺整備委員会始め檀家一同の皆様のご協力によりお寺が立派に整備されることになり感激の極みです。

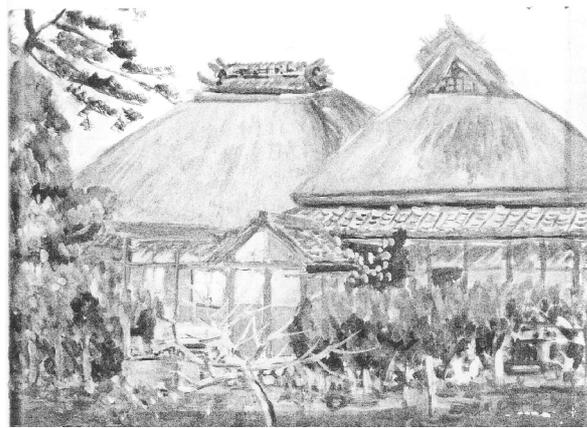
写真集

慈眼寺の旧伽藍は江戸時代の末期、安政年間に建てられたものです。当初は葺き屋根の構造になっておりました。写真は昭和二十八年頃のもので大きな松の姿が見えます。



これらの大松は四本ありましたが最後の一本が伊勢湾台風で倒れ姿を消しました。次は写真ではありませんが先代の黙定住職の水彩画

で葺きの本堂と庫裏の姿がより鮮明です。



この本堂と庫裏の屋根は夫々、昭和二十九年と昭和三十六年にトタン葺きと瓦葺きに改修された。トタン葺きの本堂は最初コールタール塗りで真黒でしたが昭和六十年ごろには銀色の塗装に変わりました。次の写真はその後のもので、古いほうは寺の門前がまだ田んぼだった頃のもので、



ISO9002 取得

【2001.4.1 土木建造物の施工】

地域社会の建設に貢献する



株式会社 秋吉組

代表取締役 下田 秋吉

本社／春日井市穴橋町1488番地
電話 (0568) 81-6710(代)
FAX (0568) 82-6710



このたびの整備事業に伴い仏像仏具を修繕に出しました。普段は厨子や帳に覆われてお目にかけれられない本尊観世音菩薩と守護神である不動明王及び毘沙門天をお目にかけます。



以下の四枚は本堂の解体中のものです。



愛知県で初登場!!

アスファルト廃材をAR方式で
100%リサイクルを実現。

科学技術庁長官賞・科学技術庁発明奨励賞等受賞プラントを採用。



東出建設株式会社

本社 愛知県春日井市金ヶ口町1491-2 TEL(0568)83-1818(代) FAX(0568)82-1287
明知リサイクルプラント 愛知県春日井市明知町字頓明1506-1 TEL(0568)88-5807(代) FAX(0568)88-5872

和尚敬白

住職 春日井浩道

秋も深まり寒さが身にしみ
る時節となりました。皆様
方には御健勝のこととお喜
び申し上げます。

お陰さまで八月中には仏
様の仮本堂への移転も終わ
り、九月一日には解体作
業も始まりました。新しい
物を建設するためには古い
物の整理は当然だとは思っ
ておりましたが、いざ始ま
って見ると身を切られるよ
うな思いを致しました。思
えば今まで当然の如くに建
つていた旧本堂は、今から
百五十年前の先祖たちの血
と汗の結晶だったのです。
これを作るために先人たち
はどんな苦勞をしたのでし
ょうか。自分たちの食物さ
え節約した人がいたかも知
れませんが、又重くて太い
材木を人間の力だけで組み

上げた大工さんたちの苦勞
も今の時代では想像できな
いものがあるでしょう。さ
らには材木調達の件で、官
の咎を背負われた宇平翁の
逸話にも心が痛みました。
ともあれ、新しい建設作
業は始まりました。来年は
新しい本堂が見られます。
皆様方にはよい年になりま
すように。

編集後記

今年の夏は記録的な猛
暑で焼け付くような暑い日
が続きました。そんな暑い
最中、お盆の過ぎるのを待
つて予定に従い本堂から庫
裏に設けた仮本堂への引越
し作業が始まりました。途
中台風一一号などの通過に
より有難い雨はいただいた
ものの、蒸し暑さが重なり
悪条件の中の作業は、何し
る仏様のこと我々素人の係
の及び腰の手伝いだけでは、

ご住職様始めご家族の方た
ちのご苦勞は並大抵ではな
かったかと思えます。

それでも漸く準備も整い
本堂の取り壊しは予定より
一日遅れて九月十一日開始、
巨大な鉄のパワーシャベル
は本堂の大屋根に振り下ろ
され間もなく長い歴史を残
して我が村のシンボル、本
堂は我々の目の前から消え
てなくなりました。一人一
人がそれぞれ持つている本
堂の思い出の数々、それは
一様に悲しみや淋しさを乗
り越え、ここでお詣り供養
を続けた日々を思い又思い
出したとき誰でも万感胸に
迫りくるものがあると思
います。

そのような本堂の感慨を
こめて今回は「百聞は一見
に如かず」と申しますので
「さようなら本堂」と題し
て写真集を見ていただき併

せて今度は新しく生まれ変
わる本堂の棟上式の案内号
としてまとめてみました。
これからも引き続きこの
「整備だより」が檀家の皆
様と整備事業の進捗状況と
の掛け橋となりますよう頑
張ってまいりますのでよろ
しくお願いいたします。

(編集子)

「慈眼寺整備だより」第2号

発行日 平成13年11月10日
発行人 春日井市下市場町5-7-2
慈眼寺整備委員会
委員長 大野悟
編集 庶務 伊藤忍
連絡先 電話 0568-81-6801